

令和7年度第1回 東京都後期高齢者医療広域連合 情報公開・個人情報保護審議会【議事録】

【日時】令和7年10月8日（水曜日）14時00分

【場所】東京区政会館19階 195会議室

【出席者】池村会長、斎藤副会長、小島委員

【事務局】八重樫総務部長、高橋総務課長、杉田主任、畠主任

【議題】

報告第1号 情報公開制度及び個人情報保護制度の実施状況について

（1）令和6年度情報公開制度の実施状況について

（2）令和6年度個人情報保護制度の実施状況について

【議事の概要】

・事務局より資料に基づき報告第1号について概要説明

・質疑応答等

（事務局）

外部提供の件数が多い理由は、住所地特例制度に該当する被保険者が多いため。

（会長）

他県の施設に入居する被保険者が多いのは、東京都内での施設数が不足しているからか。

（事務局）

施設数は足りていない。今年度は団塊の世代が後期高齢者になり、被保険者数は約180万人になった。他県では高齢者数が減少しているところもあるが、東京都では増加している。

（会長）

レセプトの開示請求も多いようだが。

（事務局）

被保険者本人が治療内容を確認するために開示請求する場合と、遺族が遺産相続の関係で開示請求することが多い。

（会長）

海外療養費の支給等で不正は起きていないか。

（事務局）

先週プレス発表したが、医師による診療報酬詐取により、約13億円の

被害が出た。当該医師は、まだ有罪確定していないが、保険医の資格が剥奪されている。

- ・報告内容について了承